

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直しに係る主な課題

施策・項目		現状・課題
安心	子育て満足度日本一	合計特殊出生率は1.6台に回復しているが、 出生数は一貫して減少 し、9,000人を割り込む
	健康寿命日本一	本県の 健康寿命の全国順位は下落 (男性…H25:16位(71.56歳)→H28:36位(71.54歳))
	障がい者雇用率日本一	本県の 障がい者雇用率の全国順位は下落 (H26:2位→H30:6位)
	人口減少	本県人口の 社会減は拡大 (H29:△1,980人→H30:△2,693人)
	地域社会の構築	人口減少・少子高齢化に伴い、 集落機能が低下
	強靱な県土づくり	安全・安心な暮らしの実現に向けた 抜本的な治水対策、南海トラフ地震・津波への対策
活力	魅力的な仕事づくり	県内大学・高校からの 県内就職率は低調 (大学・短大・高专:⑳43.2、㉑39.2、㉒41.2、高校:㉓75.4、㉔74.0、㉕73.9 ※各年3月の就職率(%))
	農林水産業	農林水産業の更なる構造改革 (農林水産業による創出額の向上、新たな森林経営管理制度への対応、水産業の成長産業化等)
	商工業	先端技術を活用した地域課題の解決に加え、 新たな産業の育成 に取り組む必要 観光産業の振興による地域経済活性化
	人材確保	生産年齢人口の減少に対応した 多様な人材の確保 (女性にとって魅力的な仕事・住みよい環境の創出、高齢者の活躍の場の創出、外国人材の確保・活用等)
発展	人材育成	若年者の県内就職増加に向けた キャリア教育の充実 、多様な人材の活躍に向けた リカレント教育の充実 女性の活躍に向けたスキル・キャリアアップ
	芸術文化	芸術文化の創造、 芸術文化を活用した地域振興
	基盤整備	生活・産業における人流、物流を支える 社会資本整備、戦略的なITインフラの整備 昭和電工ドーム・武道スポーツセンターなど 県有施設の有効活用